

福島県外避難者支援 その現状と課題

平成25年3月24日

広域避難者支援ミーティング in東京

公益財団法人さわやか福祉財団

野尻 史子

福島県外避難者プロジェクトの概要

- ◎ 「福島県被災者同行会」立ち上げ（H23年8月）
// 運営支援（世話人会H24年8月～）
- ◎ 各地域での交流会開催
同郷の絆再生、避難先住民との交流
- ◎ 情報の収集・発信
（同行会ニュース・わすれな草・ブログ）
- ◎ 都内及び全国の支援者とのネットワーク構築

7月 県外避難者のこれから 住民の声を伝えようフォーラム



福島県被災者同行会

他の団体との連携

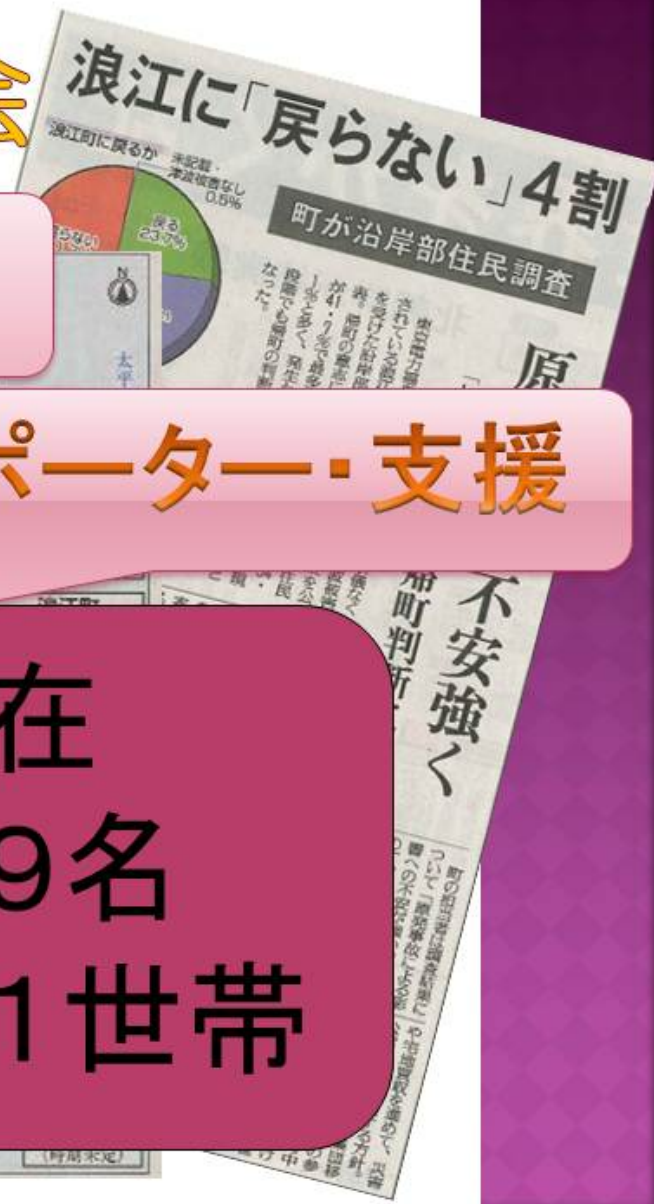
会員の拡大

サポーター・支援

3月14日現在

会員数 569名

世帯数 311世帯



10月～福島ふるさと交流会



10月 新宿区(浪江町)



11月 国分寺市



1月 世田谷区



3月 大田区(南相馬市)



12月ふくしま避難者交流会

交流会参加自治体 いわゆる市
福島市 大川町 富岡町
浪江町 双葉町 飯沼村

ふくしまの
避難者の方へ
してあげよう!

12市町村から職員が参加

ふくしま避難者交流会

日時 12月24日(祝・月)午後2時~4時45分
会場 東京国際フォーラム(有楽町駅前)
ガラス棟7階 701会議室/ラウンジ 入場無料
~申し込み方法はチラシをご覧ください!~

- 避難者ふらさと交流会
- ★ 県内市町村担当者との交流・相談
- ★ 弁護士等専門家による個別相談
- ★ 東京しごとセンターによる就職相談
- ★ ふくしまパネル写真展
- ★ 除染情報プラザ出張展示 予定

同時開催 福栄ホール・地上広場
げんき咲かそう!
ふくしま
大交流フェア

主催：福島県 共催：公益財団法人さわやか福祉財団・東京都

12市町村から職員が参加



15市町村参加パネル写真展



佐藤雄平知事も参加



交流会で町職員と懇談

3月 県外避難者支援フォーラム

～広げよう・つながろう 県外避難者ネットワーク～



第1部 広げよう、県外避難者ネットワーク
パネルトーク

- ◆パネリスト紹介◆
- ・福島県社会福祉協議会 副会長 高木 隆之雄
- ・福島県福祉の未来 事務局 中川 洋子
- ・福島県福祉文化センター 施設長 佐藤 昌雄
- ・福島県福祉文化センター 施設長 佐藤 昌雄

◆コーディネーター 藤田 浩一（福島県社会福祉協議会）

福島県外避難者支援フォーラム
広げよう・つながろう 県外避難者ネットワーク

◇日 時：3月20日（水・春分の日）
13:30～16:30（13:15開場）

◇会 場：アーバンネット神田カンファレンス2階

◇入 場：無料（事前申し込みは 裏面参照）

◇プログラム
第1部 広げよう ～パネルトーク～

◆パネリスト ◆コーディネータ

福島県福祉文化センター 施設長 佐藤 昌雄
福島県福祉文化センター 施設長 佐藤 昌雄
福島県福祉文化センター 施設長 佐藤 昌雄

福島県社会福祉協議会 副会長 高木 隆之雄
福島県福祉の未来 事務局 中川 洋子

◆情報提供
福島県社会福祉協議会 副会長 高木 隆之雄
福島県福祉の未来 事務局 中川 洋子

第2部 つながろう ～交流会・個別相談会～

主 催：公益財団法人さひのけ福祉財団
共 催：関係者共まちづくり支援機構
協 力：東亰しごとセンター
ふくしま就職支援センター

北関東ブロックの取り組み

- ◆北茨城 あすなろ会
- ◆茨城 ふうあいネット
- ◆栃木 とちぎ暮らし応援会
- ◆群馬 ぐんま暮らし応援会

個別訪問



交流会



情報発信

こころの電話帳

全国のインストラクターとの連携 ◇ことしもおじゃまSUMMER



わすれな草

2012年（平成24年）9月10日 わすれな草



低線量被ばく不安

東京電力福島第一原子力発電所事故以降、低線量被ばくへの不安、特に子どもの健康被害に対する不安が顕著になりつつある。事故発生から約1年、事故発生地の子どもたちの健康被害に対する不安が顕著になりつつある。事故発生から約1年、事故発生地の子どもたちの健康被害に対する不安が顕著になりつつある。事故発生から約1年、事故発生地の子どもたちの健康被害に対する不安が顕著になりつつある。

2012年（平成24年）9月10日 わすれな草

ことしもおじゃまSUMMER!

関係者のみなさまありがとうございました報告レポート2012

今年の夏は、例年とは異なり、例年よりも暑い夏となりました。暑い夏は、例年よりも暑い夏となりました。暑い夏は、例年よりも暑い夏となりました。暑い夏は、例年よりも暑い夏となりました。暑い夏は、例年よりも暑い夏となりました。



関係者のみなさまありがとうございました報告レポート2012
関係者のみなさまありがとうございました報告レポート2012
関係者のみなさまありがとうございました報告レポート2012



つながろう 福島！ わすれな草

発行：2012年9月10日
発行所：福島県環境健康センター
編集：福島県環境健康センター
発行所：福島県環境健康センター

ふるさと交流会（恒例）

10月20日（土）
14:00-17:00
会場：新妻 工学部大学
内容：ふるさと交流会
ふるさと交流会
ふるさと交流会

さわやか福島県外避難者支援ブログ

← | 2013.02 | →

日	月	火	水	木	金	土
-	-	-	-	-	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	-	-

Archive A

さわやか 福島県外避難者支援ブログ

県外避難者の方を支援する皆さんをつなぎ、「ふるさと福島」の希望ある復興に向けて、同世代の方士の「絆」を再生することを目的に開設したブログです。各地の情報を交流し、相互の活動に生かしていきたいです。

福島市「ぜえね」にきました

今日は「ぜえね」に小林インストラクターをお訪

小林さんはコミュニティバス「くるくるバス」を；
発着所はコミュニティスペースとしても地域のみな

今日もたくさんの方が来ていました。

穏やかな日差しのおさすともいい日に伺えてうれし

小林さんは2月20日のさわやか財団交流総会に『
福島県内と県外避難者をむすぶ取り組みについてお』

拍手

“避難住民のこれから 住民の声を届けよう”フォーラム開催！！

2012.08.22 15:51 | イベント情報 |

7月25日、東京八重洲富士屋ホテルにおいて、災害復興まちづくり支援機構との共催で、“避難住民のこれから 住民の声を届けよう”フォーラムを開催しました。
「福島県被災者同行会」会員を中心に、79名の被災者の皆さんと、支援機構の専門家、(株)パソナ、北関東ブロックインストラクターの皆さん、及び財団職員を合わせ32名のスタッフ、行政関係者6名を加え、117名が参加、盛会となりました。
詳しい内容は、「わすれな草」第3号、「さあ 奮おう」9月号をご参照ください。

拍手

避難生活の長期化に伴い 見えてきた課題（避難者）

（1）避難者のニーズの多様化・複雑化

警戒区域住民	or	自主的避難住民
帰還困難区域	or	居住制限区域
	or	避難指示解除準備区域
家族での避難	or	母子・単身での避難
就業	or	未就業
高齢者	or	若者世代

区域再編

2月11日福島民友新聞

葛尾村
3月22日午前0時
29年・28年・26年帰還

浪江町
4月1日午前0時
29年・28年帰還

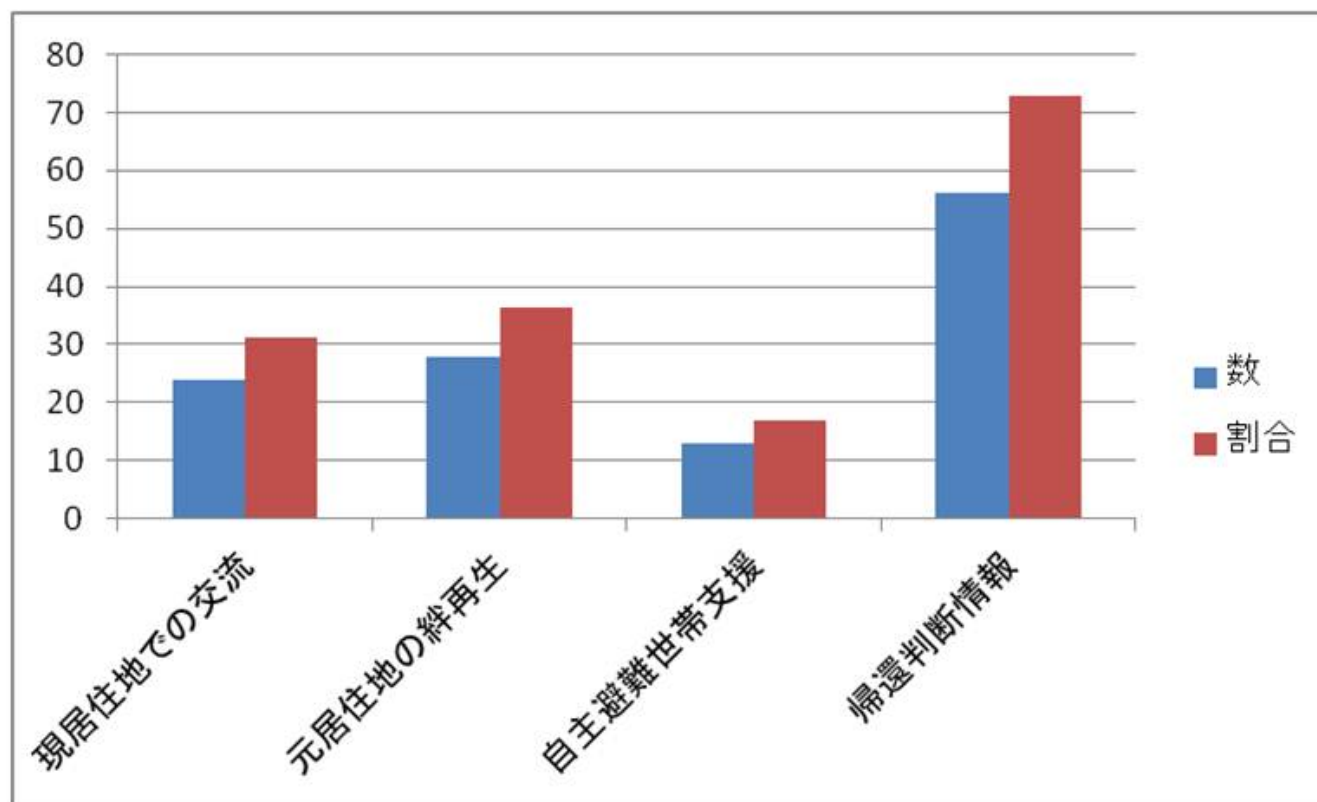
富岡町
3月25日午前0時
29年・28年帰還

●：原子力発電所

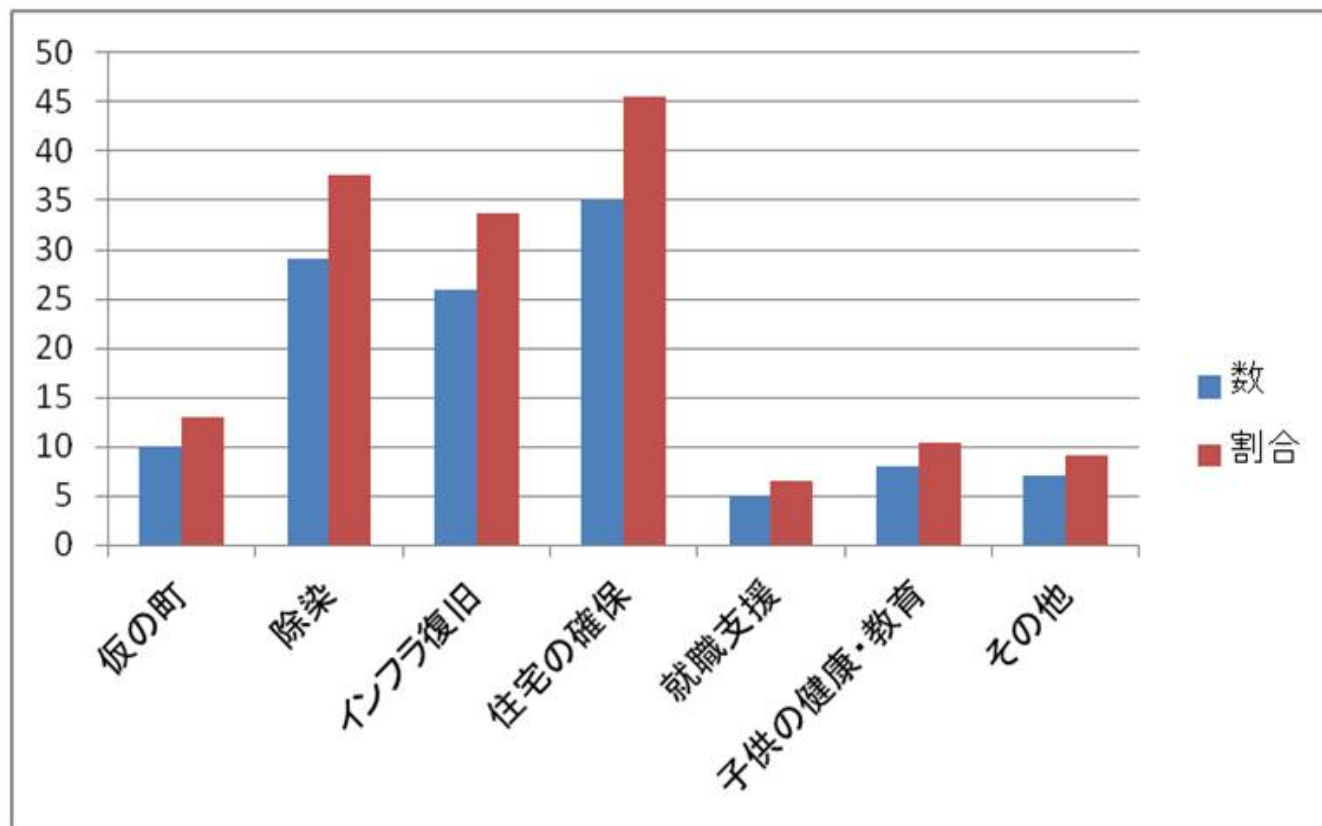
□：3区域未編成地域



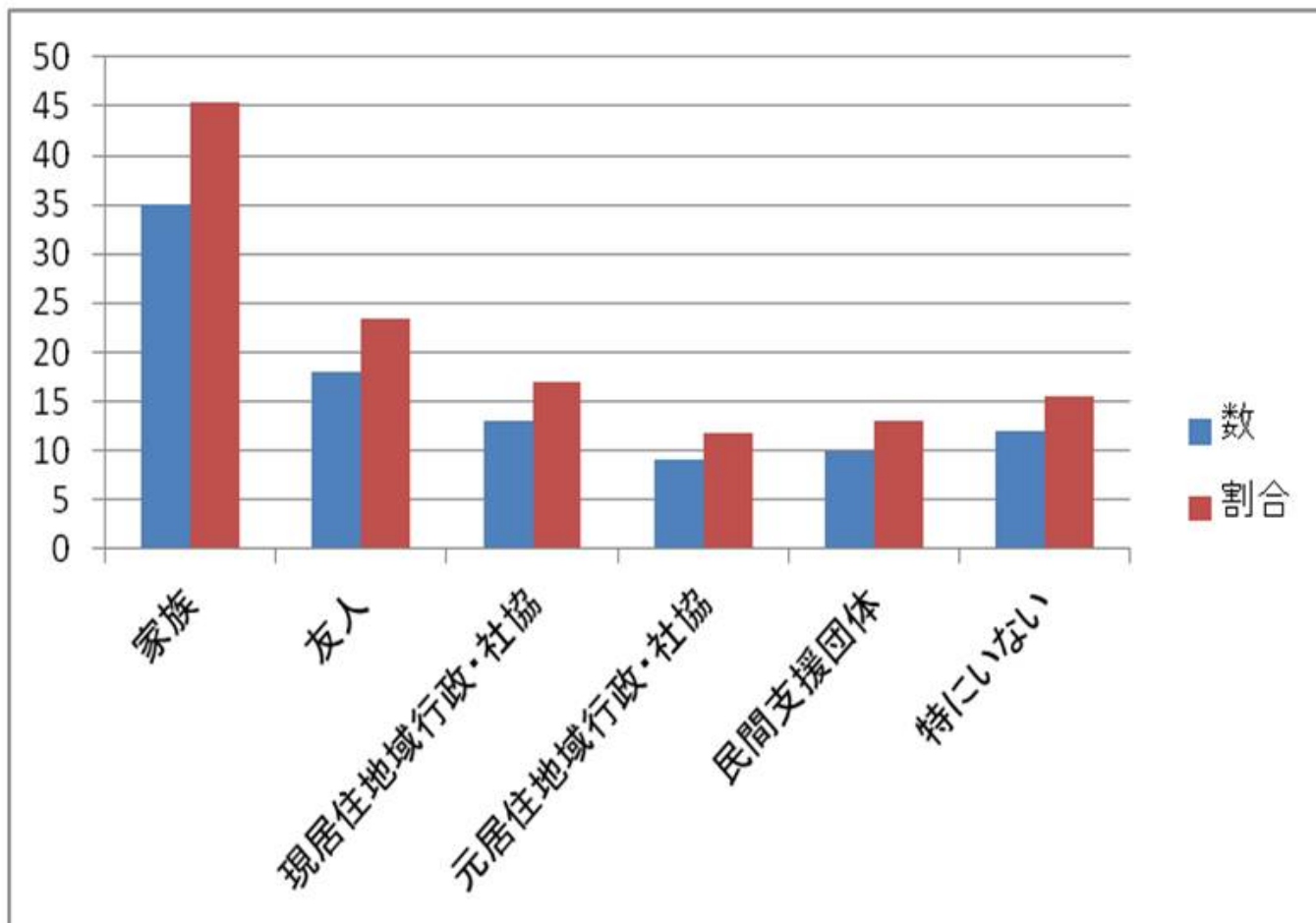
今、気になっていることは
どんなことですか？



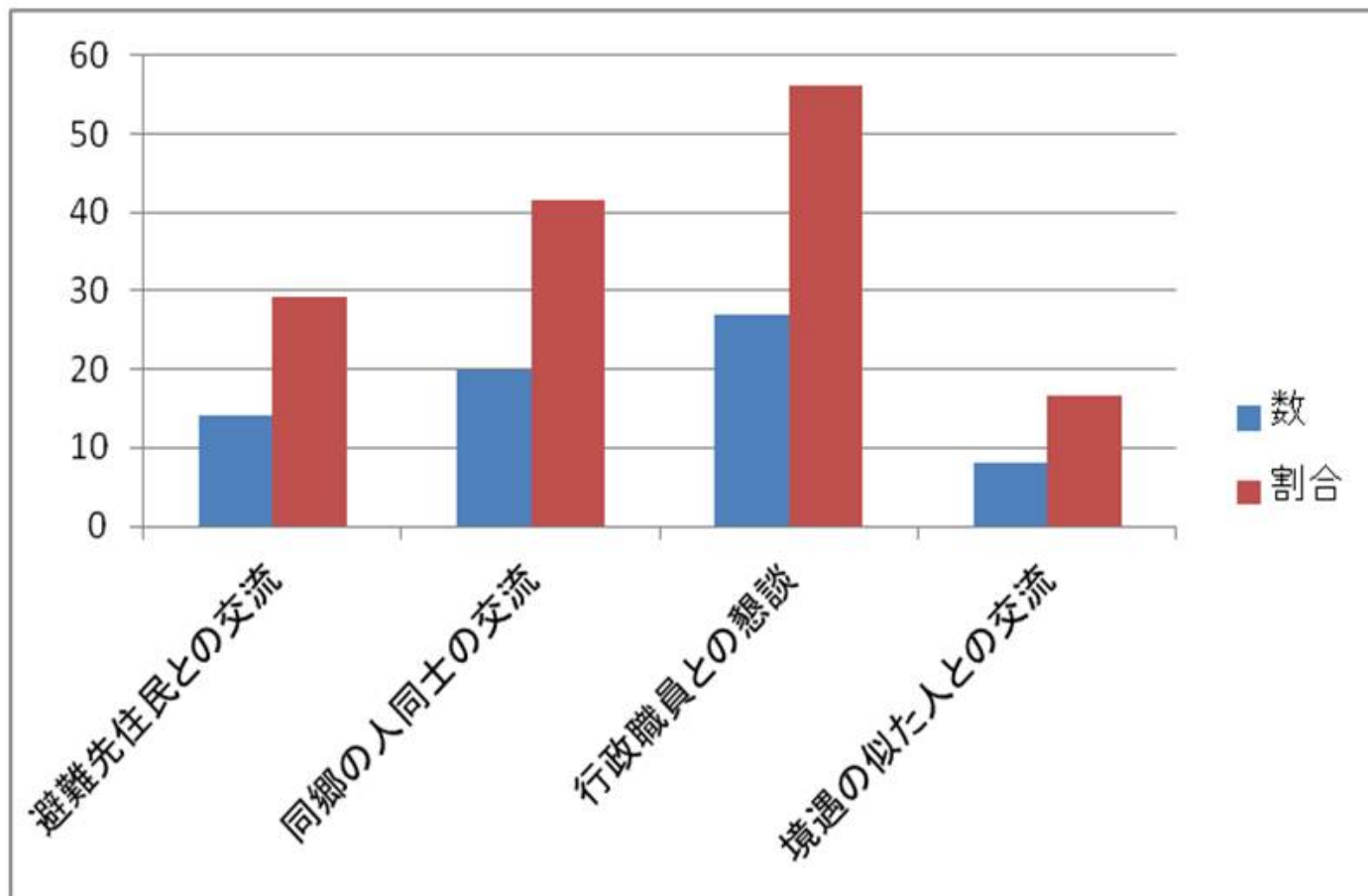
帰還の判断材料として気になるのは どんなことですか？



困ったことが起きたとき、 まず相談するのは誰（どこ）ですか？



交流会やサロンに参加するとしたら どんな内容を期待しますか？



避難生活の長期化に伴い 見えてきた課題（避難者）

(2) 見通しの立たない復旧・復興への道筋

帰還する o r 帰還しない
帰還したい o r 帰還したくない

…は同じではない

◇判断材料（情報）の不足

…収集の手段をもたない高齢者世帯等

◇疑問・要望の窓口がない実態

避難生活の長期化に伴い 見えてきた課題（避難者）

(3) 避難生活への慣れからくる心境の変化

- ◇新規加入者がいる反面、退会者も・・・
- ◇交流会参加者の減少
- ◇交流会での居場所が見つからない
- ◇行政への不満→仕方ない
- ◇また新たな生活を始める苦勞をしたくない

避難生活の長期化に伴い 見えてきた課題（支援者）

- (1) 個人情報情報の壁
- (2) 避難者の多様なニーズに応えることの限界
- (3) 支援者間の連携不足
- (4) 場所・人・経費の問題



今後の取り組み

- (1) 「同行会」の**自主的運営**への移行支援
- (2) **行政**と避難者を結ぶ（交流会・フォーラム開催）
- (3) 他の支援団体との連携強化（**支援者ネットワーク**）
- (4) 出身地や住居エリアでの
自助・共助的な交流グループの**立ち上げ支援**